

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

№.292 2023年9月25日



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 正木茂博

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

支部で姫路市議会に請願

保険証は継続を

姫路・西播支部は、姫路市議会に「健康保険証の存続を求める意見書提出を求める請願」を提出した。現在協会では政府が2024年秋に現行の保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化することに対して、現行の保険証を残すことを求める請願を各市町議会で進めており、支部でも8月幹事会で姫路市に対して請願の提出を決定。その他4市6町には12月議会での陳情を予定している。請願内容・意見書案は以下の通り。

請 願 書

姫路市議会議長 三輪 敏之 様

提出者 兵庫県保険医協会姫路・西播支部
マサキ医院 正木 茂博
清水内科医院 清水 映二
小松歯科クリニック 小松 盛樹

1 件 名 健康保険証の存続を求める意見書提出の件

2 要 旨 県民のいのちと健康をまもるためにご奮闘いただいていることに敬意を表します。

マイナンバーカードをめぐる問題が続出するなか、マイナンバー法等改正案が6月2日の参議院本会議で可決、成立しました。

マイナンバーカード取得は「任意」とされてきたにも関わらず、健康保険証と一体化させることによって、マイナンバーカードの利用を国民に強制することにつながる重大な方針転換です。十分な審議が尽くされたとはいえ、到底思われません。

法案の可決後も、マイナンバーカードの誤交付や別人への紐づけなどの誤登録、医療機関に設置されている資格確認機器のトラブルなど、生命や個人情報に関わる問題が連日のように報道されています。

国会審議を通じて、障害者や認知症の方、高齢者など、社会的弱者とされる人たちが、マイナンバーカードの手続き・取得・管理ができず、制度的に「健康保険証を持たない人」にされかねない重大問題が次々と明らかになりました。

健康保険証を廃止すれば、保険料を払っていても保険診療を受けられない人が続出することになり、国民皆保険制度の根幹を破壊する重大問題に発展しかねません。IT化やデジタル化が進むのは当然のことだと思うのですが、政府の冷静な判断が求められています。

よって、下記事項を内容とする意見書を国に提出するよう要望いたします。

(次のページに続く)

意見書案

政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決・成立させました。

しかし、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。

兵庫県保険医協会が実施したアンケート調査（回答数657件）では、オンライン資格確認システムを運用する医療機関のうち、64.2%が何らかのトラブルを経験しています。

トラブルの内容として、他人の情報が紐づけられていたケースが6件ありました。誤紐づけによる投薬・診療情報の取り違えは、重大な医療事故につながりかねません。機微性の高い医療情報を他人が閲覧できる状態になっていたことは重大な問題です。

また、28件の医療機関で、保険資格が確認出来ず、窓口で10割負担となったケースがありました。保険証が廃止されれば、経済的理由により受診が困難となることも懸念されます。

いつでもどこでもだれでもが安心して医療を受けられるように健康保険証の廃止は行わず、現在の健康保険証の存続を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

西播社保協第33回総会

軍拡よりも社会保障の充実を求めて

地域の医療・福祉改善のため、住民らでつくる西播社会保障推進協議会（以下西播社保協、会長高森信岳副支部長）は9月9日、姫路労働会館において第33回総会と記念講演を行った。記念講演では「軍拡よりも社会保障充実～自治体キャラバンにむけて～」というテーマで、兵庫県社会保障推進協議会の堤匠事務局長が講演し、20人が参加。地方自治体の役割と、医療・介護などの住民要求について自治体と懇談する「自治体キャラバン」の意義を深めた。

記念講演で堤氏は、岸田政権は、保険証廃止法案を成立させ、2024年秋に現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化することを強行しようとしており、その狙いは社会保障の給付抑制、資産や健康情報などの個人情報の把握であると解説。

一方で5年間で43兆円の防衛費を増やす大軍拡を進めており命を軽んじる戦争する体制ができりが進められているとした。そして、国民の受療権を守るために、保険証廃止の中止を求める署名活動を拡めようと訴えた。

またマイナンバーカードのような国民IDと健康保険証を一体化させている国は先進7カ国では日本だけであることも紹介した。



堤氏の記念講演を聞く参加者

（次ページに続く）

(前のページから)

自治体キャラバンに向けての要求事項に関して、介護保険については、市町がため込んでいた基金全額を8期介護保険料に繰り入れれば29の自治体で7期よりも保険料が下がることをデータを示しながら解説した。また子育て支援の分野では市町の努力で18歳までの医療費無料が進んでおり、さらなる拡充とともに国・県に制度拡充を要望すべきとした。ヤングケアラーの状態を解消するため、実態を調査・把握し、介護、家事、育児などの支援体制を作ることなどを要望すべきだと強く訴えた。

最後に堤氏は、地方自治体から声を上げ、社会保障の拡充は医療、介護、教育などの分野で多くの雇用が創出され経済の回復につながると強調し、軍拡ではなく医療と介護、社会保障を充実させて誰も取り残されない社会に向け、ともに取り組んでいこうと呼びかけた。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/>

左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【2023年10月のテーマ】

月曜日 子宮がん検診の勧め

火曜日 ノロウイルス

水曜日 痔瘻

木曜日 インフルエンザの予防

金土日 咳と呼吸苦～間質性肺炎～

※9日(月・祝)金土日のテーマを放送します。

【2023年11月のテーマ】

月曜日 不登校

火曜日 オーラルフレイル

水曜日 アキレス腱断裂

木曜日 アレルギー性結膜炎

金土日 一過性健忘症

※3日(金・祝)～5日(日)は木曜日のテーマを放送します。

23日(木・祝)は水曜日のテーマを放送します。

第364回幹事会だより

2023年8月24日(木) 於：じばさんびる

■姫路・西播支部の会員数 705人(8月31日現在 医科444人、歯科261人)

■主な議論、報告

・オンライン資格確認・オンライン請求の義務化などについて意見交換。電子帳簿保存法の研究会を支部として開催するかどうか。

・支部総会を「AIの医療分野での活用と展望」をテーマに開催する

次回幹事会は 9月30日(木)14時00分～ 於：じばさんびる

兵庫県保険医協会・第32回日常診療経験交流会
メインテーマ「それぞれが思い描いたコロナとその先」

特別
講演

人類生存への脅威と その処方箋

- 日時 2023年10月29日(日)13時～15時
- 会場 兵庫県保険医協会 会議室 / Zoom 併用
(JR・阪神「元町駅」南へ徒歩7分、神戸フコク生命海岸通ビル5階)
- 講師 群星沖縄臨床研修センター
センター長 徳田 安春 先生

※講師は来場による講演

「ABC」脅威と呼ばれる「Atomic Biological Chemical」脅威は、人類の生存を脅やかしている。Atomic脅威は、兵器でもあり、原発事故による汚染でも起こる。Biological脅威は、生物兵器の使用やパンデミックである。最近問題となっているChemicalはPFASであり、forever chemicalとも呼ばれ、泡消化剤として軍事基地で使用されることが多く、周囲が高濃度で汚染されている。さらには今や、DigitalとEnvironmental Crisisの二つも入れて、人類の生存をおびやかす5大脅威（脅威のABCDE）とみなせる。この脅威への予防には、臨床家の診断、教育、交渉の臨床術の応用が処方箋として使える。 【徳田 記】

【当日午前(10～12時)は同会場にて分科会演題発表】メインテーマ関連、コロナ禍での医療・介護、在宅・地域医療、病診・診診連携、医科・歯科・薬科の連携・工夫、そのほか日常診療での経験や研究内容を発表します。演題一覧は別途ご案内いたします。

お問い合わせは、協会事務局・TEL078-393-1840まで

2023年10月29日(日)第32回日常診療経験交流会「特別講演」申込

【Zoom視聴の申し込み】 <https://onl.sc/zChkhNa>

※登録後に案内メールが届きます。



【来場参加の申し込み】 fax 078-393-1820

郡市区

医療機関

お名前

職種

Tel